

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑦〉

三郷学の実践

56. イベントや祭りの効果

市内ではイベントや祭りが多く開催されています。昔から伝統的に開催され続けているもの、近年に始まったもの。市内の各地域で開催されるもの、全市的に開催される大規模なもの。それぞれに個性豊かで特長があり、にぎわいを見せています。

イベントや祭りには、台風など天候により開催の有無が左右されてしまう、担い手が不足しがちであるなどの課題があるものの、大きな効果があります。

(イベントや祭りの効果)

- 自分たちが住んでいる地域を知る機会となる
- 交流を通して課題発見から課題解決の契機となる
- 地域への愛着を生み人口の流出を食い止める
- 経済(波及)効果を生む
- 地域の知名度を向上させる
- 地域が本来持っている地元の結束力を強化する
- 地域内外の人との交流の機会となり人をつなぐ

このような効果が大きく発揮されるためには、イベントや祭りに地域の資源をいかすこと、そして新たなトレンドを認識したうえで、さまざまな工夫を凝らすことが求められてきます。

イベントや祭りそのものが、「地域の宝」であり、大切な「地域資源」でもあります。